公的年金保険の仕組み（賦課方式）令和3年度の例

公的年金の給付は、主に現役世代が納める保険料と国庫負担で行われています。

 国民　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 公的年金制度　　　　　国等

受給権者数 4,067万人

（平成30年度末）

老齢基礎年金　　　　（平成29年度末）

平均額：月5.6万円

老齢厚生年金

1人あたり平均額：月14.9万円

（基礎年金を含む）

公的年金加入者数6,746万人

　（平成30年度末）

被保険者

第1号　　　　　第2号　　　　　　　第3号

（自営業等）（会社員・公務員）（専業主婦等）

1,471万人　　　4,428万人　　　　　847万人

年金への

国庫負担

現役世代（年金を拠出する）

セカンドライフ世代（年金を受け取る）

 国民年金

保険料

38.9兆円①

（令和元年予算ベース）

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 厚生年金

年金積立金資産額

（国民年金・厚生年金）

（平成30年度末）

**166.5兆円**

**（時価ベース）**

13.0兆円②

**（令和元年予算ベース）**

国民年金保険料（第1号）

16,410円（H31/4～）

）

2020年度末

資産運用益186兆1,624億円

 厚生年金保険料率（第2号）

 18.3％（H29/9～）

 （労使折半）

公的年金の収支

**＝公的年金の収入ー公的年金支出**

**＝（保険料①＋国庫負担②）－給付③**

**＝（38.9兆円＋13.0兆円）－55.1兆円**

**＝－3.2兆円**

年金給付

55.1兆円③

（令和元年予算ベース）

厚生労働省HP:「公的年金制度の概要」より作成